

(2) 地域の自然的状況に係る項目

ア 地形及び地質の状況

(ア) 地形の分布状況

事業実施区域周辺の地形の分布状況を、図 3-2-2-1 に示す²⁸⁾。

市内から石狩市にかけて石狩湾岸低地が広がっており、事業実施区域の周辺は石狩低地（三角州低地）が分布している。

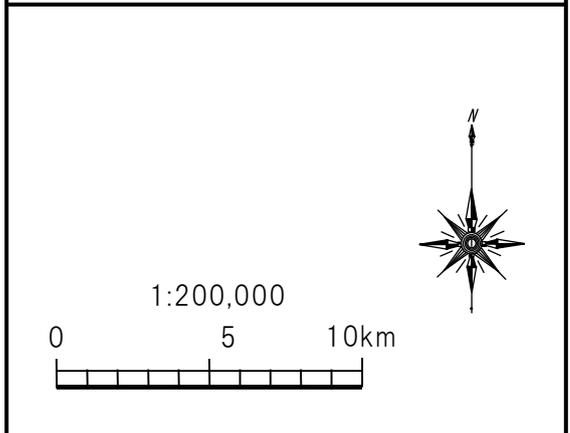
その南側には札幌扇状地、また北側には花畔砂丘地が分布している。

28) 国土庁土地局「土地分類図（地形分類図）北海道 I（石狩・後志・胆振支庁）」（昭和 50 年）



凡 例	
	事業実施区域
	影響範囲(地形及び地質)
山 地	
	大起伏山地
	小起伏山地
	山麓地
丘陵地	
	大起伏丘陵地
	小起伏丘陵地
台地・段丘	
	ローム台地(中位)
	砂礫台地(下位)
低地	
	扇状地性低地
	自然堤防・砂州
	三角州低地
	地形地域区界線

図 3-2-2-1 地形分類図



出典：国土庁土地局「土地分類図(地形分類図)北海道 I(石狩・後志・胆振支庁)」(昭和 50 年)

(イ) 地質

事業実施区域及びその周辺における表層地質の分布状況を、表 3-2-2-1 及び図 3-2-2-2 に示す²⁹⁾。

事業実施区域及びその周辺は、東西に泥炭土及び埴土（記号 Pm, Pl, Sc）が広く分布している。JR 函館線の南側には、支笏噴火物からなる砂・礫・粘土が分布している。

表 3-2-2-1 影響範囲における地質の分布状況³⁰⁾

地質時代		地層名	記号	岩相
第四紀	沖積世	泥炭土 / 中位泥炭	Pm	ホロムイスゲ、ハンノキ泥炭
		泥炭土 / 低位泥炭	Pl	ヨ シ 泥 炭
		発寒川扇状堆積物	Hf	埴土, 砂, 礫, 粘土
		篠路埴土	Sc	埴土, 砂, 粘土
		現河川堆積物	Al	砂、礫、粘土
	洪積世	支笏噴火物 / 崖錐	Tl	礫, 砂, 粘土
		支笏噴火物/手稻溶岩	Lte	含石英普通輝石紫蘇輝石安山岩

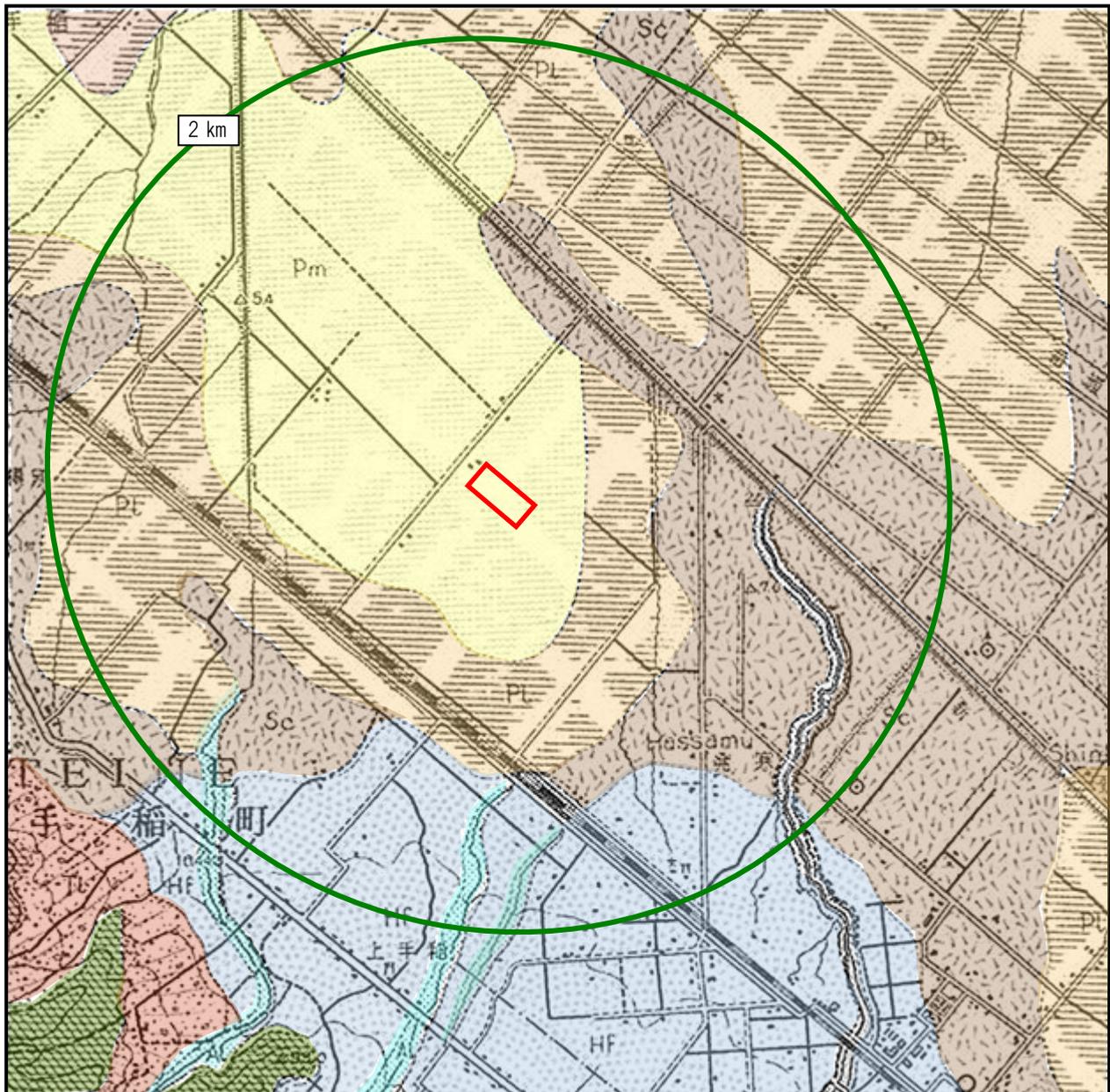
出典) 北海道立地下資源調査所「5万分の1地質図幅 札幌」(昭和29年)

(ウ) 重要な地形・地質の分布状況

影響範囲（地形及び地質）の周辺には、図 3-2-2-3 のとおり、事業実施区域の周辺は後背湿地（石狩低地）であり、重要な地形・地質は特に存在していない³⁰⁾。

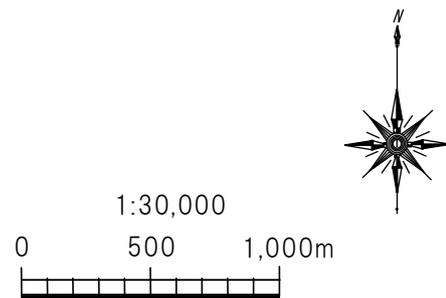
29) 北海道立地下資源調査所「5万分の1地質図幅 札幌」(昭和29年)

30) 北海道土質コンサルタント,札幌表層地盤図(2m深図), (平成6年3月発行)

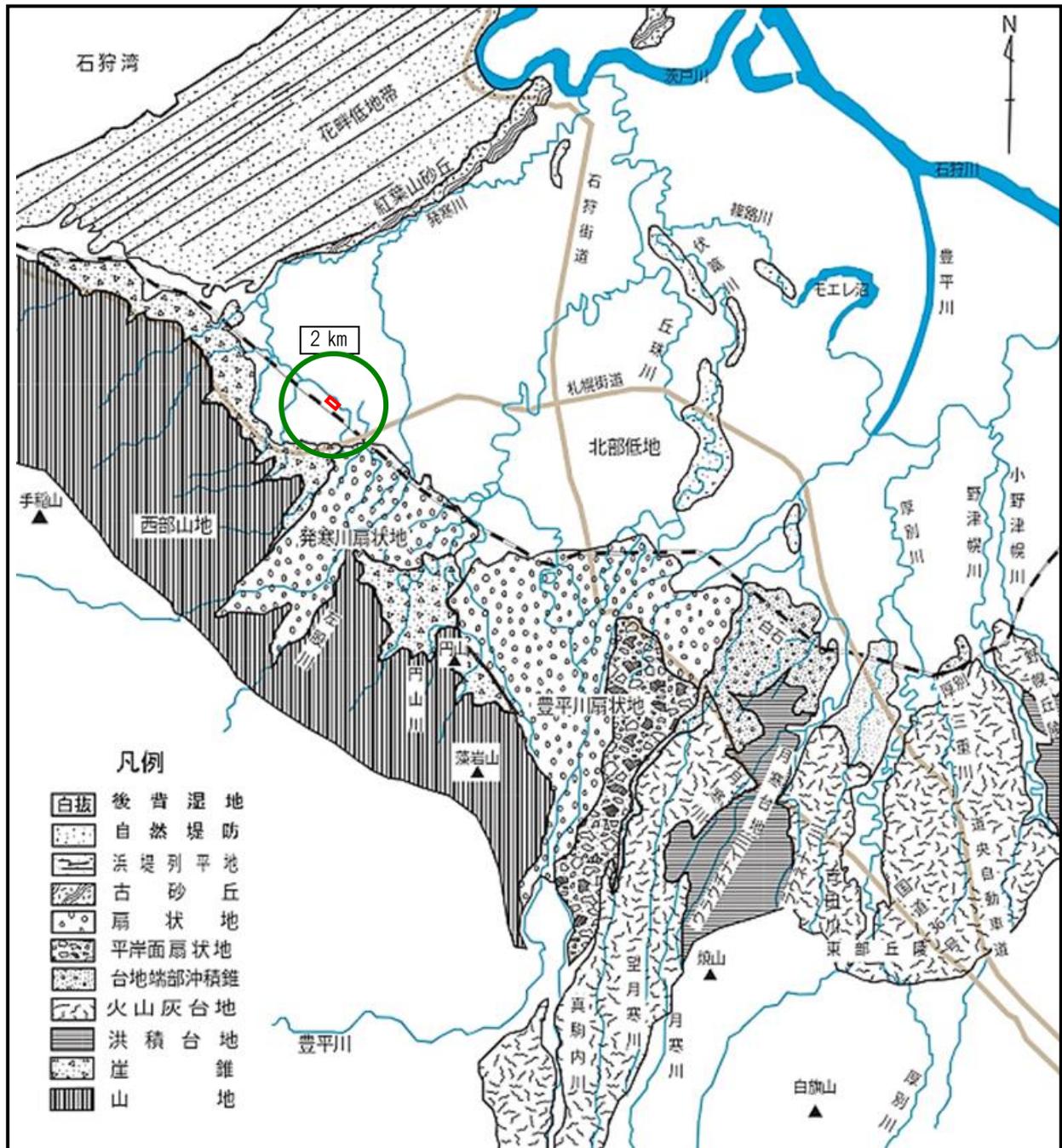


凡 例	
	事業実施区域
	影響範囲（地形及び地質）
	中間泥炭（ホロムイスケ、ハンノキ泥炭）
	低位泥炭（ヨシ泥炭）
	埴土，砂，粘土（篠路埴土）
	埴土，砂，礫，粘土（発寒川扇状堆積物）
	砂，礫，粘土（現河川堆積物）
	砂，礫，粘土（崖錐）
	含石英普通輝石安山岩（手稲溶岩）

図 3-2-2-2 表層地質図



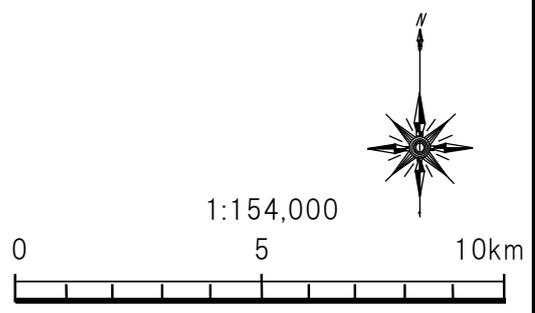
出典：北海道立地下資源調査所「5万分の1地質図幅 札幌」（昭和29年発行）を基に作図



- 凡例
- 白抜 後背湿地
 - 点状 自然堤防
 - 波線 浜堤列平地
 - 斜線 古砂丘
 - 点状 扇状地
 - 波線 平岸面扇状地
 - 点状 台地端部沖積錐
 - 斜線 火山灰台地
 - 波線 洪積台地
 - 点状 崖
 - 縦線 山地

凡 例	
□	事業実施区域
○	影響範囲(地形及び地質)
—	河 川

図 3-2-2-3 札幌地域の地形



出典：北海道土質コンサルタント,札幌表層地盤図(2m 深図), (平成 6 年 3 月発行) を基に作図

(エ) 活断層

札幌周辺に明確な活断層はないが、影響範囲（地形及び地質）の周辺には、図 3-2-2-4 のとおり『西札幌背斜』が確認される³¹⁾。

なお、札幌近郊では、市の北部や東部に褶曲構造が多く確認されている。

(オ) 地盤の強さ

事業実施区域及びその周囲の表層地盤増幅率の状況^{32) 33)}を、図 3-2-2-5 に示す。

表層地盤増幅率とは、地震時の揺れの大きさを数値化したのもので、数値が大きいほど地盤は弱く、揺れは大きくなる。

我が国においては、増幅率が「1.5」を超えると一般に要注意とされ、「2.0」以上の場合は強いゆれに対する備えが必要とされている。

事業実施区域の表層地盤増幅率は「2.0」前後であり、軟弱な地盤であることから、施設建設においては十分な配慮が必要である。

31) 北海道大学 岡 孝雄，1997，北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一付，札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察，加藤誠教授退官記念論文集，pp427-449

32) 独立行政法人 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」（2014 年版）

33) 藤本一雄、翠川三郎「近接間接点ペアの強震記録に基づく地盤増幅度と地盤の平均 S 波速度の関係」日本地震工学会論文集，第 6 巻，第 1 号，pp.11-22,2006

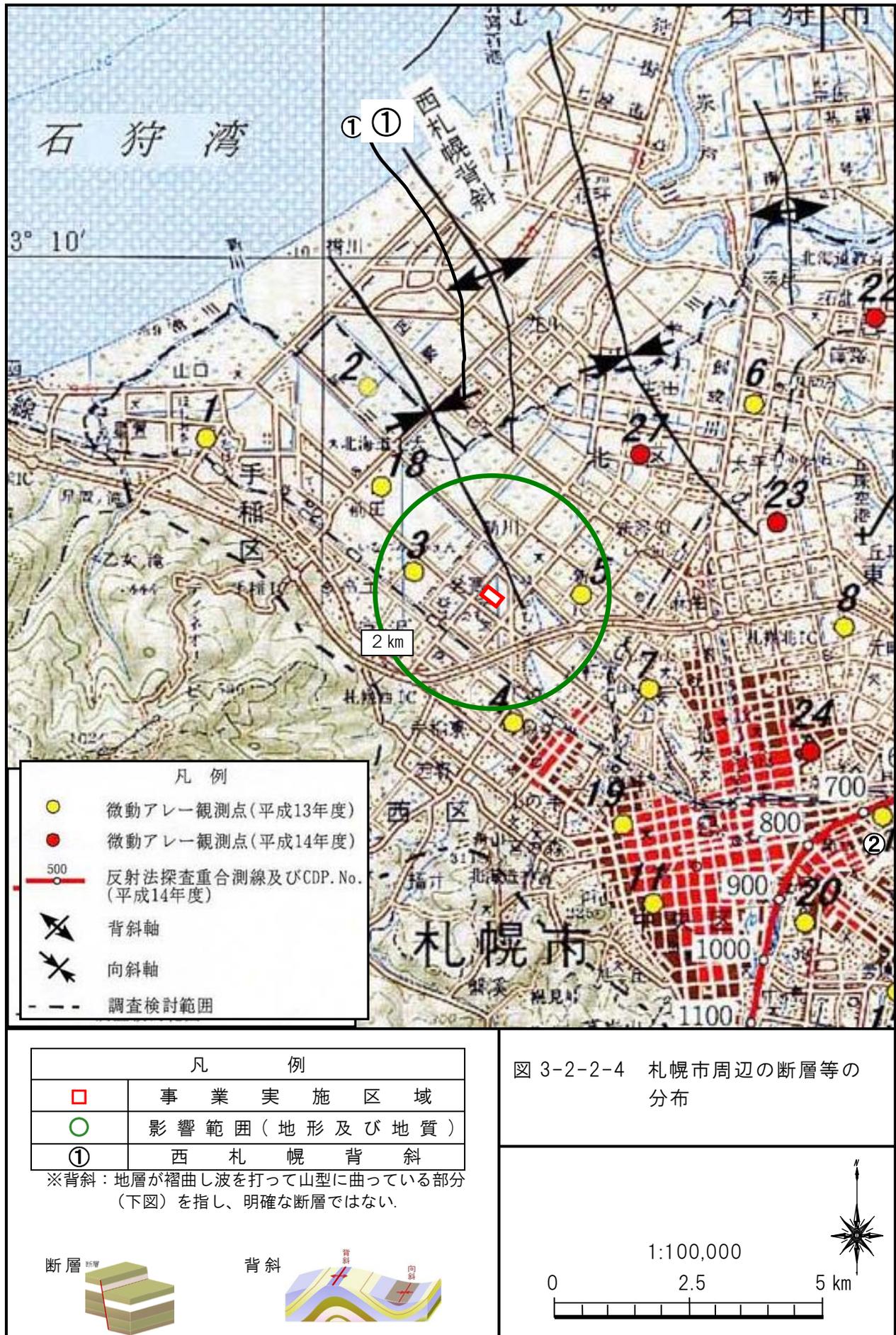
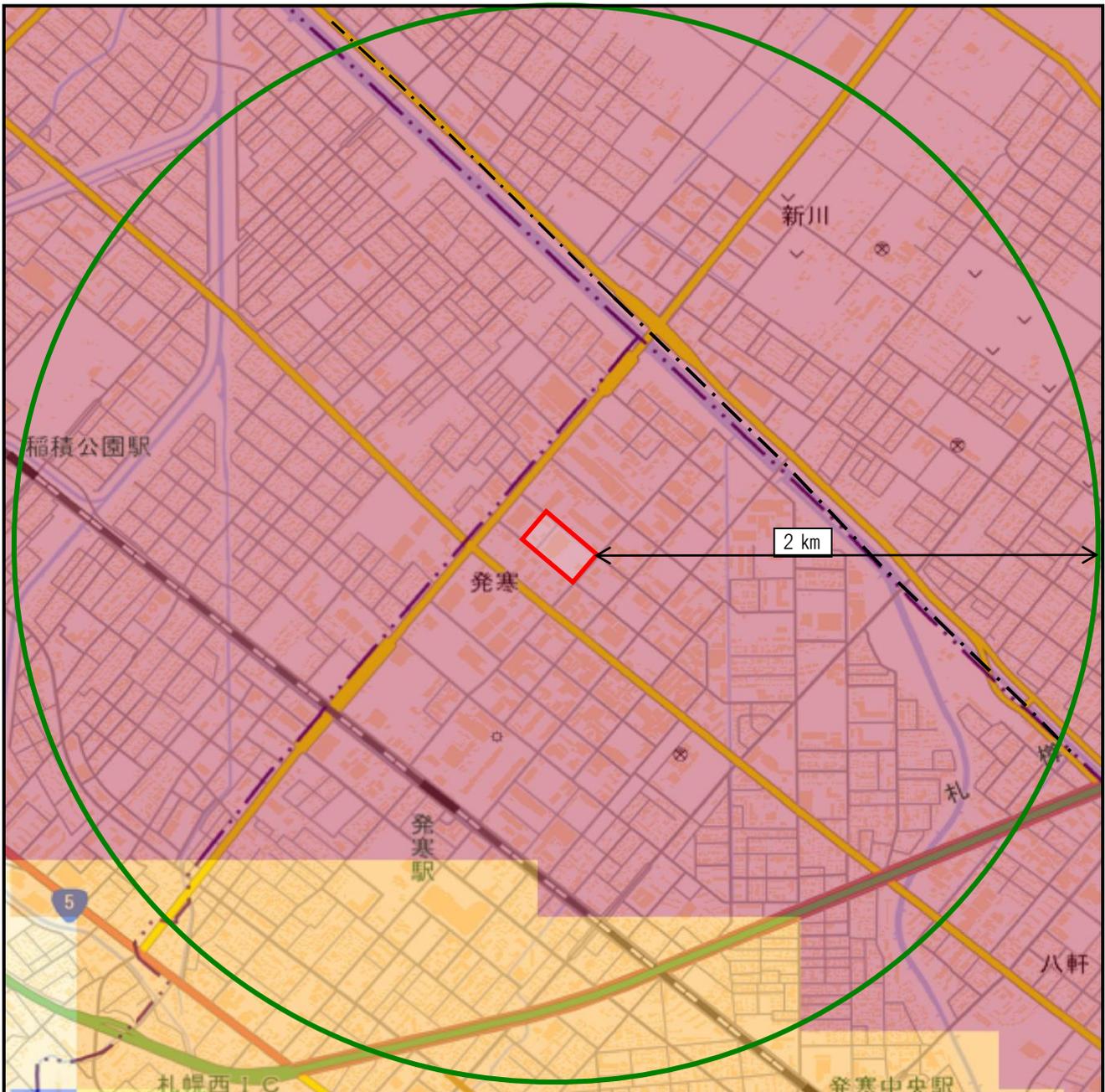


図 3-2-2-4 札幌市周辺の断層等の分布

出典) 北海道大学 岡 孝雄, 1997, 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察, 加藤誠教授退官記念論文集, pp427-449



凡 例	
	事業実施区域
	影響範囲（地形及び地質）
	区 界

表層地盤増幅率

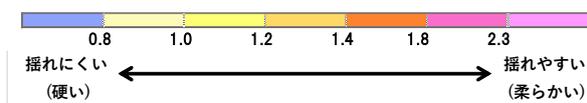
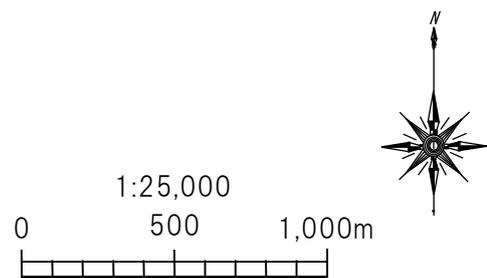


図 3-2-2-5 表層地盤増幅率の状況
(地震時のゆれの大きさ)

※国土地理院発行の電子地形図 25,000（オンデマンド版）の地形図(令和2年11月17日発行)を使用したものである。



出典：独立行政法人 防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」(J-SHIS Maps2023年 NIED 作成版)

イ 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(ア) 植 物

a 植物種及び植物群落の状況

(a) 植物種

事業実施区域及びその周辺における植物種について、文献その他の資料により 25 科 37 種を確認した³⁴⁾ ³⁵⁾ ³⁶⁾。植物種の概要を表 3-2-2-2 に示す。

確認種数は、大葉シダ植物 1 科 1 種、基部被子植物 1 科 1 種、単子葉植物 7 科 11 種、真正双子葉植物 16 科 24 種であった。

表 3-2-2-2 植物種の概要

分類群	主な確認種
大葉シダ植物	エゾフユノハナワラビ 【1 科 1 種】
基部被子植物	キタコブシ 【1 科 1 種】
単子葉植物	コウライテンナンショウ、オニドコロ、エンレイソウ、オオバナノエンレイソウ、オオウバユリ、ドイツスズラン、スズラン、オオアマドコロ、ガマ、ノガリヤス、ススキ 【7 科 11 種】
真正双子葉植物	カツラ、ヤマブドウ、ヤマハギ、アズキナシ、ズミ、ノイバラ、ヤマグワ、ニシキギ、ツリバナ、マユミ、ヌルデ、トチノキ、オカトラノオ、サルナシ、ヘクソカズラ、アカネ、スズサイコ、ウメモドキ、ツリガネニンジン、オトコヨモギ、エゾノコンギク、シラヤマギク、オオハンゴンソウ、ケヤマウコギ 【16 科 24 種】

(b) 植物群落

事業実施区域及びその周辺における植物群落の分布状況を、図 3-2-2-6 の現存植生図にまとめた³⁷⁾ ³⁸⁾。

事業実施区域及びその周辺は、工場地帯や住宅地となっており、自然植生はほとんど見られなかった。また、事業実施区域の南西に位置する畑雑草群落は航空写真(令和 4 年現在)で確認すると、現在は住宅や工場が建設されており、その面積は小さくなっている。

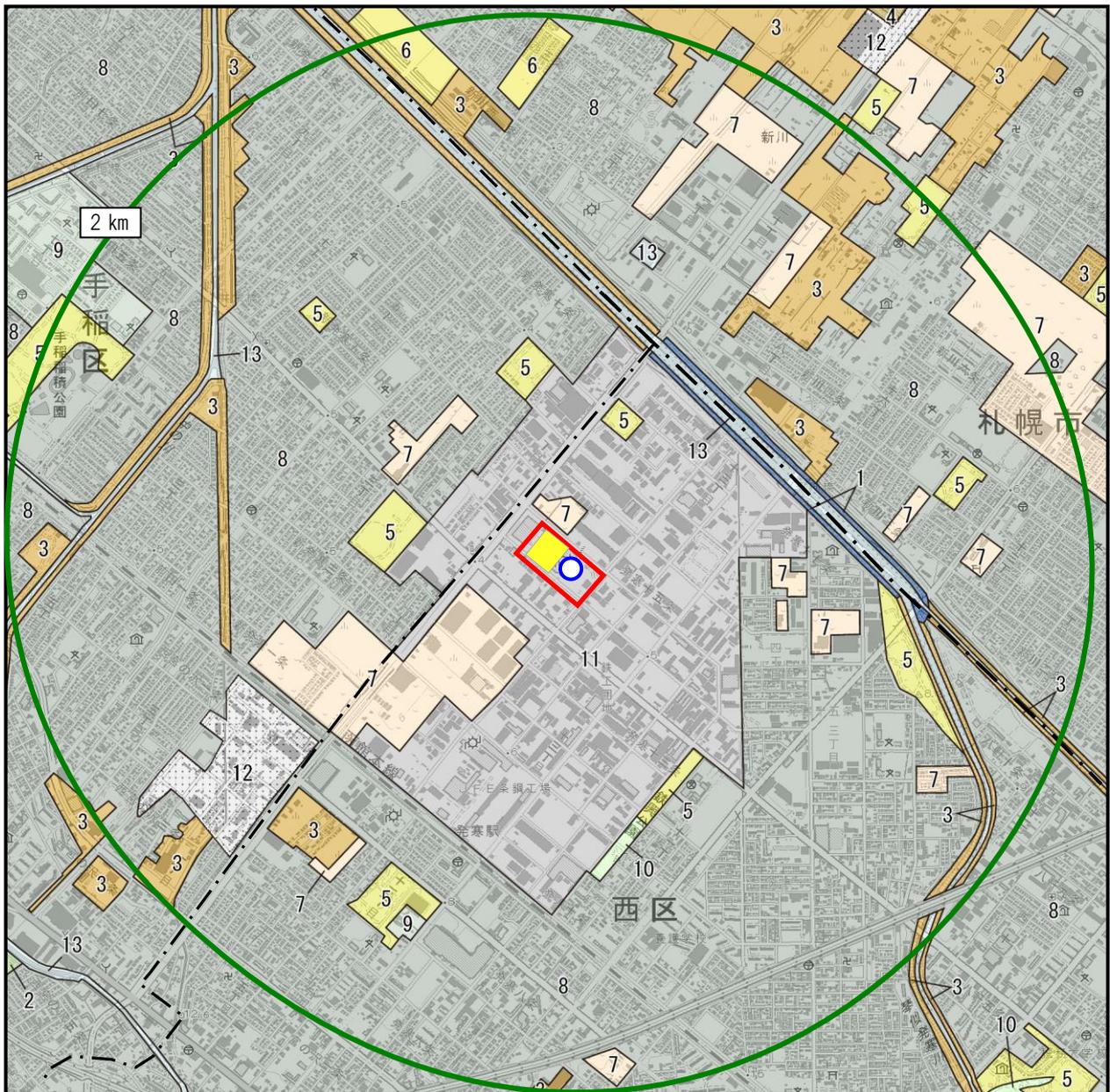
34) 札幌市「札幌市内の各種動植物情報(2016年~2017年)」

35) 札幌市「さっぽろ生き物さがし 2018~2021」

36) 北海道植物友の会「10月の観察会 手稲区富丘西公園-菩多尼訶 30-」(2012)

37) 環境省「第6回自然環境保全基礎調査 植生調査 平成11年~平成16年」

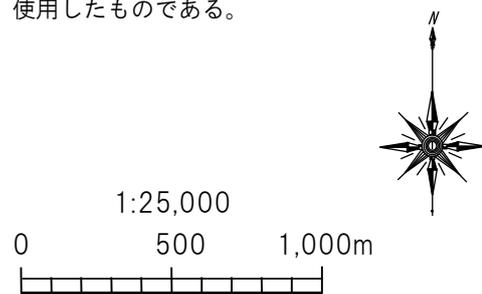
38) 環境省「第7回自然環境保全基礎調査 植生 平成17年~」



凡 例			
	事業実施区域		
	影響範囲(動物,植物,生態系)		
	区 界		
	現 工 場		
	建設予定地 (現西清掃事務所及び市道の一部)		
1	ヤナギ高木群落(Ⅳ)	8	市街地
2	シラカンパー ミズナラ群落	9	緑の多い住宅地
3	オオヨモギ群落	10	残存・植栽樹群をも った公園、墓地等
4	ニセアカシア群落	11	工場地帯
5	ゴルフ場・芝地	12	造成地
6	牧草地	13	開放水域
7	畑雑草群落		

図 3-2-2-6 現存植生図

※国土地理院発行の電子地形図 25,000 (オンデマンド版) の地形図(令和 2 年 11 月 17 日発行)を使用したものである。



出典:「第 6 回～第 7 回自然環境保全基礎調査(現存植生図)(平成 11 年～平成 17 年)」(環境省)より作図

b 重要な植物の分布状況

植物の重要な種は、文献その他の資料により確認された種のうち、表 3-2-2-3 に示す法令及びレッドリスト等により選定されている種とした。

表 3-2-2-3 重要な植物の選定基準

選定基準		カテゴリー
A	文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）	特別天然記念物（特天）
		天然記念物（国天）
	北海道文化財保護条例（昭和 30 年条例第 83 号）	天然記念物（道天）
	札幌市文化財保護条例（昭和 34 年条例第 31 号）	市指定文化財（市文）
B	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）	特別国内希少野生動植物種（特内）
		国内希少野生動植物種（国内）
		緊急指定種（緊急）
C	北海道生物の多様性の保全等に関する条例（平成 25 年条例第 9 号）	指定希少野生動植物種（指定）
D	「環境省レッドリスト 2020」（環境省）	絶滅（EX）
		野生絶滅（EW）
		絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）
		絶滅危惧ⅠA類（CR）
		絶滅危惧ⅠB類（EN）
		絶滅危惧Ⅱ類（VU）
		準絶滅危惧（NT）
		情報不足（DD）
E	「北海道の希少野生生物－北海道レッドデータブック 2001－」（北海道）※	絶滅（Ex）
		野生絶滅（Ew）
		絶滅危惧Ⅰ類（Cr+En）
		絶滅危惧ⅠA類（Cr）
		絶滅危惧ⅠB類（En）
		絶滅危惧Ⅱ類（Vu）
		準絶滅危惧（Nt）
		留意（N）
		情報不足（Dd）
		絶滅のおそれのある地域個体群（Lp）
F	「札幌市版レッドリスト 2016」（札幌市）	今見られない（EX+EW）
		絶滅危惧ⅠA類（CR）
		絶滅危惧ⅠB類（EN）
		絶滅危惧Ⅱ類（VU）
		準絶滅危惧（NT）
		情報不足（DD）
		留意（N）

※）「北海道レッドデータブック 2001」（北海道,2001）の選定基準(カテゴリー)は、他項目の改訂版のものに準拠した。

(a) 植物種

事業実施区域及びその周辺における重要な植物種については、文献その他の資料により表 3-2-2-4 に示す 2 科 2 種を確認した^{34) 35) 36)}。

既存資料によると、スズラン、スズサイコの 2 種は、事業実施区域外で確認しているが、これらは、事業実施区域及びその周辺に生育している可能性は低い³⁷⁾。

表 3-2-2-4 文献資料による重要な種一覧（植物）

科名	和名	選定基準					
		A	B	C	D	E	F
クサスギカズラ	スズラン						N
キョウチクトウ	スズサイコ				NT	Nt	VU
2 科	2 種	0 種	0 種	0 種	1 種	1 種	2 種

注)種名、学名及び種の配列は原則として、「日本産シダ植物標準図鑑 I・II」(学研プラス,2016)及び「改訂新版 日本の野生植物 1~5」(平凡社,2015~2017)に準拠した。

(b) 植物群落

事業実施区域及びその周辺において、「第 2 回自然環境保全基礎調査」等で選定された特定植物群落は存在しない^{39) 40) 41)}。

34) 札幌市「札幌市内の各種動植物情報（2016 年～2017 年）」

35) 札幌市「さっぽろ生き物さがし 2018～2021」

36) 北海道植物友の会「10 月の観察会 手稲区富丘西公園-菩多尼訶 30-」(2012)

39) 環境庁「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査 昭和 53 年～昭和 54 年」

40) 環境庁「第 3 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査 昭和 58 年～昭和 62 年」

41) 環境省「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査 平成 5 年～平成 10 年」

(イ) 動物

a 動物種及び地域個体群の状況

事業実施区域及びその周辺における動物種の状況は、文献その他の資料を収集・整理して把握した。

(a) 動物種

事業実施区域及びその周辺に生息する動物について、文献その他の資料により、表 3-2-2-5 のとおり、哺乳類 3 目 6 科 8 種、鳥類 15 目 38 科 114 種、両生類 1 目 1 科 1 種、爬虫類 1 目 1 科 1 種、昆虫類 8 目 18 科 42 種、魚類 6 目 10 科 27 種、底生動物 8 目 12 科 12 種を確認した^{42)～51)}。

表 3-2-2-5 動物種の概要

分類群等	主な確認種
哺乳類	ハツカネズミ、ドブネズミ、エゾヒグマ、アライグマ、エゾタヌキ、キタキツネ、アメリカミンク、エゾシカ 【3 目 6 科 8 種】
鳥類	キジ(コウライキジ)、マガモ、カイツブリ、キジバト、アオサギ、バン、カッコウ、アマツバメ、オオジシギ、オオセグロカモメ、トビ、アオバズク、カワセミ、アカゲラ、チゴハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ククイタダキ、シジュウカラ、ヒバリ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、シマセンニュウ、オオヨシキリ、キレンジャク、ゴジュウカラ、キバシリ、ムクドリ、カワガラス、クロツグミ、スズメ、ハクセキレイ、ベニマシコ、アオジ等 【15 目 38 科 114 種】
両生類	ニホンアマガエル 【1 目 1 科 1 種】
爬虫類	ヒガシニホントカゲ 【1 目 1 科 1 種】
昆虫類	ヒメフタオカゲロウ、オツネトンボ、オオルリボシヤンマ、ルリボシヤンマ、モイワサナエ、オニヤンマ、シオカラトンボ、ナツアカネ、ノシメトンボ、カンタン、サッポロフキバツタ、ミカドフキバツタ、トノサマバツタ、ヒナバツタ、コエゾゼミ、エゾハルゼミ、センブリ、ミヤマクワガタ、コガタシマトビケラ、カラスアゲハ、キアゲハ、モンキチョウ、スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、ベニシジミ、コムラサキ、クジャクチョウ等 【8 目 18 科 42 種】
魚類	スナヤツメ北方種、タイリクバラタナゴ、エゾウグイ、ウグイ、モツゴ、フクドジョウ、アユ、アメマス、ニジマス、サケ、サクラマス(ヤマメ)、ニホンイトヨ、トミヨ、ハナカジカ、アシシロハゼ、ヌマチチブ、ウキゴリ、シマウキゴリ、ピリンゴ、ジュズカケハゼ、ヌマガレイ等 【6 目 10 科 27 種】
底生動物	ナミウズムシ、カワニナ、サカマキガイ、ヒラマキミズマイマイ、イトミミズ、シマイシビル、トゲオヨコエビ、ニッポンヨコエビ、ミズムシ(甲)、ヌマエビ、スジエビ、モクズガニ 【8 目 12 科 12 種】

42) 北海道「北海道環境データベース」
 43) 環境庁「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和53年～昭和54年」
 44) 環境庁「第3回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和58年～昭和62年」
 45) 環境庁「第4回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和63年～平成4年」
 46) 環境省「第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 平成5年～平成10年」
 47) 環境省「第6回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 平成11～16年度」
 48) 環境省「第7回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 平成17年～」
 49) 環境省「第5回自然環境保全基礎調査 淡水魚類の分布調査 平成9年～平成10年」
 50) 札幌市「札幌の川で見られる主な魚」
 51) (財)札幌市公園緑化協会 札幌市豊平川さけ科学館研究報告(2012年度・2015年度)

b 重要な種（動物）の分布状況

動物の重要な種は文献その他の資料により確認された種のうち、表 3-2-2-6 に示す法令及びレッドリスト等により選定されている種とした。

事業実施想定区域及びその周辺に生息する重要な種（動物）については、哺乳類 1 科 1 種、鳥類 11 科 15 種、昆虫類 2 科 2 種、魚類 8 科 9 種、底生動物 1 科 1 種を確認した。

表 3-2-2-6 重要な動物の選定基準

選定基準		カテゴリー
A	文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）	特別天然記念物（特天）
		天然記念物（国天）
	北海道文化財保護条例（昭和 30 年条例第 83 号）	天然記念物（道天）
	札幌市文化財保護条例（昭和 34 年条例第 31 号）	市指定文化財（市文）
B	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）	特別国内希少野生動植物種（特内）
		国内希少野生動植物種（国内）
		緊急指定種（緊急）
C	北海道生物の多様性の保全等に関する条例（平成 25 年条例第 9 号）	指定希少野生動植物種（指定）
D	「環境省レッドリスト 2020」（環境省）	絶滅（EX）
		野生絶滅（EW）
		絶滅危惧 I 類（CR+EN）
		絶滅危惧 I A 類（CR）
		絶滅危惧 I B 類（EN）
		絶滅危惧 II 類（VU）
		準絶滅危惧（NT）
		情報不足（DD）
		絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
E※	「北海道の希少野生生物ー北海道レッドデータブック 2001ー」 「北海道レッドリスト【両生類・爬虫類編】改訂版(2015 年)」 「北海道レッドリスト【昆虫類>チョウ目編】改訂版(2016 年)」※ 「北海道レッドリスト【哺乳類編】改訂版(2016 年)」 「北海道レッドリスト【鳥類編】改訂版(2017 年)」 「北海道レッドリスト【魚類編（淡水・汽水）】改訂版(2018 年)」 「北海道レッドリスト【昆虫類>コウチュウ目編】改訂版(2019 年)」 (北海道)※	絶滅（Ex）
		野生絶滅（Ew）
		絶滅危惧 I 類（Cr+En）
		絶滅危惧 I A 類（Cr）
		絶滅危惧 I B 類（En）
		絶滅危惧 II 類（Vu）
		準絶滅危惧（Nt）
		留意（N）
		情報不足（Dd）
		絶滅のおそれのある地域個体群（Lp）
F	「札幌市版レッドリスト 2016」（札幌市）	今見られない（EX+EW）
		絶滅危惧 I A 類（CR）
		絶滅危惧 I B 類（EN）
		絶滅危惧 II 類（VU）
		準絶滅危惧（NT）
		留意（N）

※）昆虫類のうちチョウ目及びコウチュウ目については改訂版を、それ以外の目は「北海道レッドデータブック 2001」（北海道,2001）によった。選定基準(カテゴリー)は、改訂版のものに準拠した。

(a) 哺乳類

文献その他の資料により確認された種のうち、重要な哺乳類については、表 3-2-2-7 に示す 1 科 1 種を確認した^{42) 45) ~48)}。

既存資料によるとエゾヒグマが確認されているが、「令和 5 年度札幌市ヒグマ出没情報」を見ると事業実施区域及びその周辺での情報はない。

表 3-2-2-7 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（哺乳類）

科名	種名	選定基準					
		A	B	C	D	E	F
クマ	エゾヒグマ				LP	Lp	NT
1 科	1 種	0 種	0 種	0 種	1 種	1 種	1 種

注) 種名、学名および種の配列は、「日本産野生生物目録－脊椎動物編－」(環境庁編, 1993)に準拠した。

(b) 鳥類

文献その他の資料により確認された種のうち、重要な鳥類について、表 3-2-2-8 に示す 11 科 15 種を確認した^{34) 35) 42) ~44)}。

表 3-2-2-8 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（鳥類）

科名	種名	選定基準					
		A	B	C	D	E	F
キジ	エゾライチョウ				DD	Nt	NT
	ウズラ				VU	Nt	VU
サギ	ヨシゴイ				NT		
シギ	ヤマシギ					N	DD
	オオジシギ				NT	Nt	NT
カモメ	ウミネコ					Nt	
	オオセグロカモメ				NT	Nt	
フクロウ	アオバズク					Dd	DD
カワセミ	アカショウビン					Vu	NT
キツツキ	オオアカゲラ					Dd	N
モズ	アカモズ		国内		EN	En	EN
ヒバリ	ヒバリ						N
センニュウ	マキノセンニュウ				NT	Nt	NT
ホオジロ	ホオアカ					Nt	N
	シマアオジ		国内		CR	Cr	CR
11 科	15 種	0 種	2 種	0 種	8 種	13 種	12 種

注) 種名、学名および種の配列は、「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(日本鳥学会編, 2012)に準拠した。

34) 札幌市「札幌市内の各種動植物情報(2016年~2017年)」

35) 札幌市「さっぽろ生き物さがし 2018~2021」

42) 北海道「北海道環境データベース」

43) 環境庁「第 2 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和 53 年~昭和 54 年」

44) 環境庁「第 3 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和 58 年~昭和 62 年」

45) 環境庁「第 4 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和 63 年~平成 4 年」

46) 環境省「第 5 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 平成 5 年~平成 10 年」

47) 環境省「第 6 回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 平成 11~16 年度」

48) 環境省「第 7 回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 平成 17 年~」

(c) 両生類

文献その他資料により確認された種のうち、重要な両生類は確認されなかった⁴²⁾。

(d) 爬虫類

文献その他資料により確認された種のうち、重要な爬虫類は確認されなかった⁴²⁾。

(e) 昆虫類

文献その他の資料により確認された種のうち、重要な昆虫類について、表3-2-2-9に示す2科2種を確認した^{34) 35) 42) 45) 46)}。

既存資料によると、コオニヤンマ、ナツアカネの2種は、事業実施区域外で確認している。

表 3-2-2-9 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（昆虫類）

科名	種名	選定基準					
		A	B	C	D	E	F
サナエトンボ	コオニヤンマ						NT
トンボ	ナツアカネ					NT	
2科	2種	0種	0種	0種	0種	1種	1種

注) 種名、学名および種の配列は原則として、「日本産野生生物目録—無脊椎動物編Ⅱ」(環境庁、1995)、「日本昆虫目録第2巻～第5巻、第8巻～第9巻」(一般社団法人日本昆虫学会、2014～2020)、「日本産蛾類標準図鑑Ⅰ～Ⅳ」(学研、2011～2013)及び図鑑等を参考にした。

34) 札幌市「札幌市内の各種動植物情報(2016年～2017年)」

35) 札幌市「さっぽろ生き物さがし2018～2021」

42) 北海道「北海道環境データベース」

45) 環境庁「第4回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 昭和63年～平成4年」

46) 環境省「第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 平成5年～平成10年」

(f) 魚 類

文献その他の資料により確認された種のうち、重要な魚類について、表 3-2-2-10 に示す 8 科 9 種を確認した^{42) 49) 50) 51)}。

表 3-2-2-10 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（魚類）

科名	種名	選定基準					
		A	B	C	D	E	F
ヤツメウナギ	スナヤツメ北方種				VU		
コイ	エゾウグイ					N	
ドジョウ	ドジョウ				NT		
アユ	アユ					Nt	
サケ	サクラマス（ヤマメ）				NT	N	N
トゲウオ	ニホンイトヨ					N	
	エゾトミヨ				VU	Nt	NT
カジカ	ハナカジカ					N	
ハゼ	ジュズカケハゼ				NT		
8 科	9 種	0 種	0 種	0 種	5 種	6 種	2 種

注) 種名、学名および種の配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 5 年度版」(国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

(g) 底生動物

文献その他の資料により確認された種のうち、重要な種（底生動物）として、表 3-2-2-11 に示す 1 科 1 種を確認した⁴²⁾。

表 3-2-2-11 文献資料及び現地確認による重要な種一覧（底生動物）

科名	種名	選定基準					
		A	B	C	D	E	F
ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ				DD		
1 科	1 種	0 種	0 種	0 種	1 種	0 種	0 種

注) 種名、学名および種の配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 5 年度版」(国土交通省河川水辺の国勢調査ホームページ)に準拠した。

42) 北海道「北海道環境データベース」

49) 環境省「第 5 回自然環境保全基礎調査 淡水魚類の分布調査 平成 9 年～平成 10 年」

50) 札幌市「札幌の川で見られる主な魚」

51) (財)札幌市公園緑化協会 札幌市豊平川さけ科学館研究報告(2012 年度・2015 年度)

(ウ) 生態系

a 地域の生態系の分布状況

地域の生態系の分布状況を把握するため、事業実施区域及びその周辺に係る地域を特徴づける自然環境について、類型区分を行った。

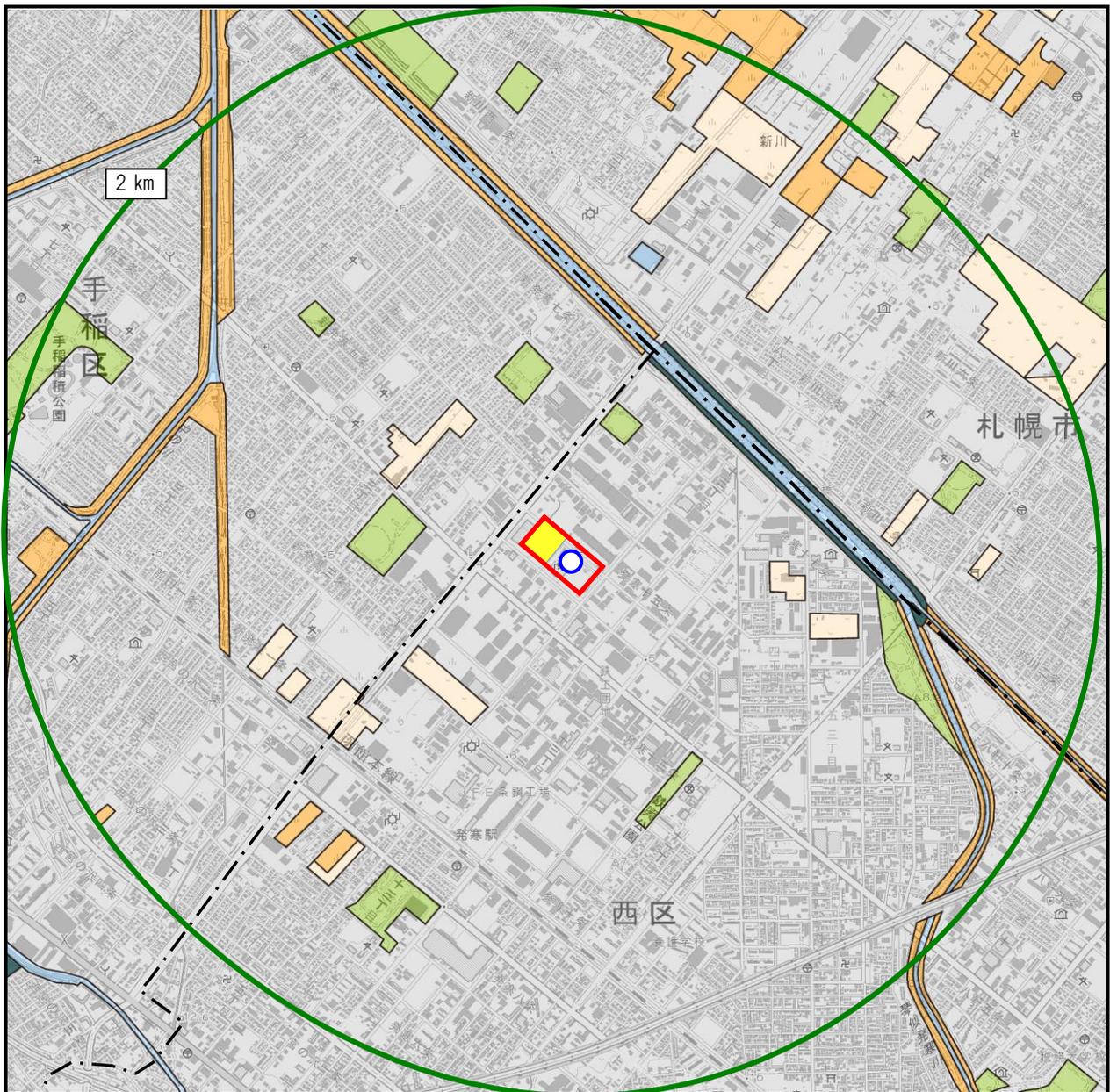
自然環境類型区分を、表 3-2-2-12 及び図 3-2-2-7 に示す。

事業実施区域及びその周辺は、主に「市街地等」に区分され、「耕作地等」や「牧草地等」が点在している。

このうち事業実施区域は「市街地等（工場地帯）」である。

表 3-2-2-12 自然環境類型区分表

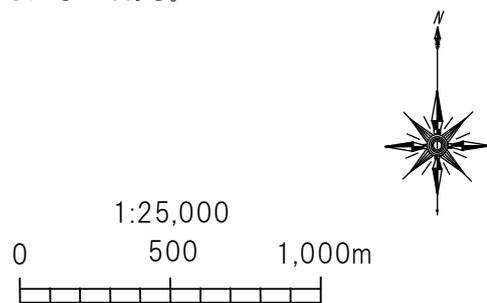
環境類型区分	分布状況	植生区分
二次林	河川沿い及び事業実施区域の北東と南西にわずかに分布している。	ヤナギ高木群落（ⅠⅤ）
		シラカンバーミズナラ群落
		ニセアカシア群落
二次草原	河川沿いと市街地の中に部分的に分布している。市街地の中で稀少な草地となっている。	オオヨモギ群落
耕作地等	市街地の中に部分的に分布している。	畑雑草群落
牧草地等	市街地の中に部分的に分布している。	牧草地
		ゴルフ場・芝地
市街地等	事業実施区域及びその周辺の大部分を占めている。	市街地
		緑の多い住宅地
		残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
		造成地
工場地帯	事業実施区域の北東部及び北西部に位置している。	工場地帯
		開放水域



凡 例	
	事業実施区域
	影響範囲(動物,植物,生態系))
	区 界
	現 工 場
	建設予定地 (現西清掃事務所及び市道の一部)
	二 次 林
	二 次 草 原
	耕 作 地 等
	牧 草 地 等
	市 街 地 等
	開 放 水 域

図 3-2-2-7 自然環境類型区分図

※国土地理院発行の電子地形図 25,000(オンデマンド版)の地形図(令和2年11月17日発行)を使用したものである。



出典：現存植生図及び航空写真 (gsimaps(写真 2022 年)) (国土地理院
(<http://gsi-cyberjapan.github.io/gsimaps/>))を参照して作成

b 重要な自然環境類型区分及び代表する生物種

地域を特徴づける6種の自然環境類型区分のうち、分布面積、生物の多様性及び連続性の観点から特に重要な類型区分として、表3-2-2-13の4区分を選定した。

また、これら重要な自然環境類型区分を代表する生物種について、文献資料及び既存の知見等の情報を表中に示した。

表 3-2-2-13 重要な自然環境類型区分に代表される生物種

類型区分	二次林	二次草原	牧草地等	開放水域
代表する生物種	●植物 ・カツラ ・キタコブシ	●植物 ・ススキ	●植物 ・オトコヨモギ	●植物 ・ガマ ・ノガリヤス
	●哺乳類 ・エゾタヌキ	●哺乳類 ・キタキツネ	●哺乳類 ・キタキツネ	●哺乳類 ・ドブネズミ
	●鳥類 ・アカゲラ ・キジバト	●鳥類 ・オオジシギ ・ベニマシコ	●鳥類 ・ヒバリ	●鳥類 ・アオサギ ・ハクセキレイ
	●爬虫類 ・ヒガシニホントカゲ	●爬虫類 —	●爬虫類 —	●爬虫類 —
	●両生類 ・ニホンアマガエル	●両生類 ・ニホンアマガエル	●両生類 ・ニホンアマガエル	●両生類 ・ニホンアマガエル
	●昆虫類 ・エゾハルゼミ ・オニヤンマ ・ミヤマクワガタ	●昆虫類 ・ハネナガフキバツタ ・キアゲハ ・モンシロチョウ	●昆虫類 ・ヒナバツタ ・ベニシジミ ・モンキチョウ	●昆虫類 ・アキアカネ ・シオカラトンボ ・センブリ ●魚類 ・ウグイ ・ドジョウ ●甲殻類 ・スジエビ ・ミズムシ(甲) ●貝類 ・サカマキガイ

ウ 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

(ア) 景観

a 地域景観の状況

本市は、「札幌市景観計画」⁵²⁾において景観形成の方針を「自然」、「都市」、「人(暮らし)」の3つの観点から示し、このうち「都市」については都市計画マスタープランに適合したものになるよう、市内エリアを都市計画マスタープランの『市街地等の区分別』に整理している。

事業実施区域の近傍は工業地帯であることから、景観計画における「工業地・流通業務地」に該当し、更に工業地帯の周辺は「一般住宅地」や「郊外住宅地」となっている。

当該地域は、市街地の景観形成における重点対象地区ではないものの、新工場の計画では高さ100m程度の煙突の設置が予定されることから、景観への影響は比較的遠方に及ぶことが想定され、景観に対する配慮が必要な計画である。

b 景観資源の分布状況

(a) 自然景観資源

影響範囲(景観)の自然景観資源の分布状況を、表3-2-2-14及び図3-2-2-8に示す^{53) 54)}。

図中の事業実施区域から半径5kmの範囲内には、主たる自然景観資源は存在していない。

表3-2-2-14 自然景観資源の概要^{53) 54)}

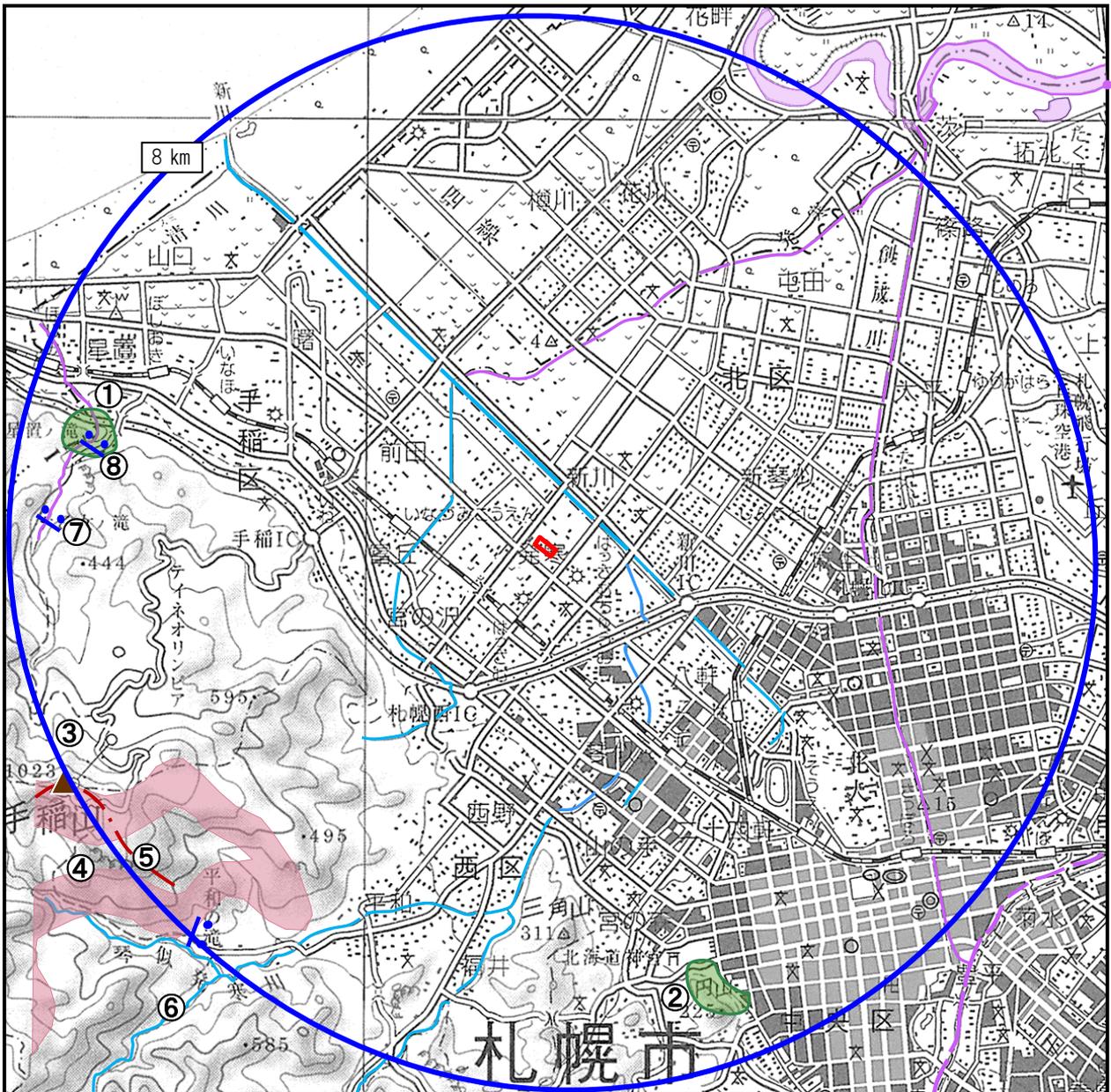
類型	自然景観資源名	図中番号	名称	概要
山地景観	特定植物群落	①	手稲星置の滝自然林	遠方から視認できない
		②	札幌円山天然林	国指定天然記念物
	火山	③	手稲山	遠方から視認できる
	火山群	④	手稲火山群	遠方から視認できる
	特徴的な稜線	⑤	手稲山	遠方から視認できる
河川景観	滝	⑥	平和の滝	遠方から視認できない
		⑦	星置の滝	遠方から視認できない
		⑧	乙女の滝	遠方から視認できない

注：地点番号は、図3-2-2-8に対応している。

52) 札幌市「札幌市景観計画」(平成29年2月)

53) 環境庁「第4回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 北海道(胆振・石狩・空知)」(平成7年)

54) 環境庁「第3回自然環境保全基礎調査 日本の自然景観 北海道版」(平成元年)

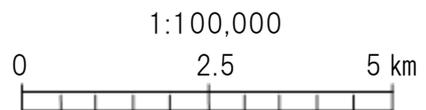


凡 例					
	事業実施区域				
	市 界				
	影響範囲（景観）				
	新川流域の河川				
	その他の河川				
	自然景観資源（特定植物群落）				
	自然景観資源（火山）				
	自然景観資源（火山群）				
	自然景観資源（特徴的な稜線）				
	自然景観資源（滝）				
①	特定植物群落	手稲星置の滝自然林	⑤	特徴的稜線	手稲山
②	植物群落	札幌円山天然林	⑥	滝	平和の滝
③	火山	手稲山	⑦		星置の滝
④	火山群	手稲火山群	⑧		乙女の滝

注：地点番号は、本文中の表 3-2-2-14 に対応している。

図 3-2-2-8 自然景観資源の位置図

※この地図は国土地理院発行の20万分の1地勢図(札幌)を拡大して使用したものである



出典：環境庁「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 北海道(胆振・石狩・空知)」(平成元年)より作図

(b) 札幌景観資産

本市では、都市景観条例に基づき札幌景観資産（文化遺産）を指定している。

影響範囲（景観）における札幌景観資産は、過去に表 3-2-2-15 及び図 3-2-2-9 に示す「日本食品製造合資会社 旧工場」がある⁵⁵⁾。

表 3-2-2-15 影響範囲（景観）における札幌景観資産⁵⁵⁾

地点番号	名称	建設年	構造	所在地
①	日本食品製造合資会社 旧工場	昭和4年	れんが造	西区八軒1条西1丁目13-1（JR 琴似駅前）

注：地点番号は、図 3-2-2-9 に対応。



（令和5年3月撮影）

(c) 景観の種（活用促進景観資源）

本市では、良好な景観をつくるうえで欠かすことのできない景観資源を市民に広く知ってもらい、活用の可能性を広げるため、良好な景観の形成上価値があると認められるものを景観の種（活用促進景観資源）として登録し、情報を公開している⁵⁵⁾。

影響範囲（景観）における景観の種を表 3-2-2-16 に示す。「ていね夏あかり」は、手稲区内で一晩だけ「提灯」（ちょうちん）を灯すイベントである。

表 3-2-2-16 影響範囲（景観）における景観の種（活用促進景観資源）⁵⁵⁾

地点番号	名称	所在地
②	ラベンダー通りを中心とした宮の沢中央地区の取組がつくる景観	西区 （宮の沢中央地区十四軒・手稲通）
③	ポプラ通り（屯田防風林）	北区屯田及び新琴似
④	ていね夏あかり	手稲区内（北海道科学大等）

注：地点番号は、図 3-2-2-9 に対応している。

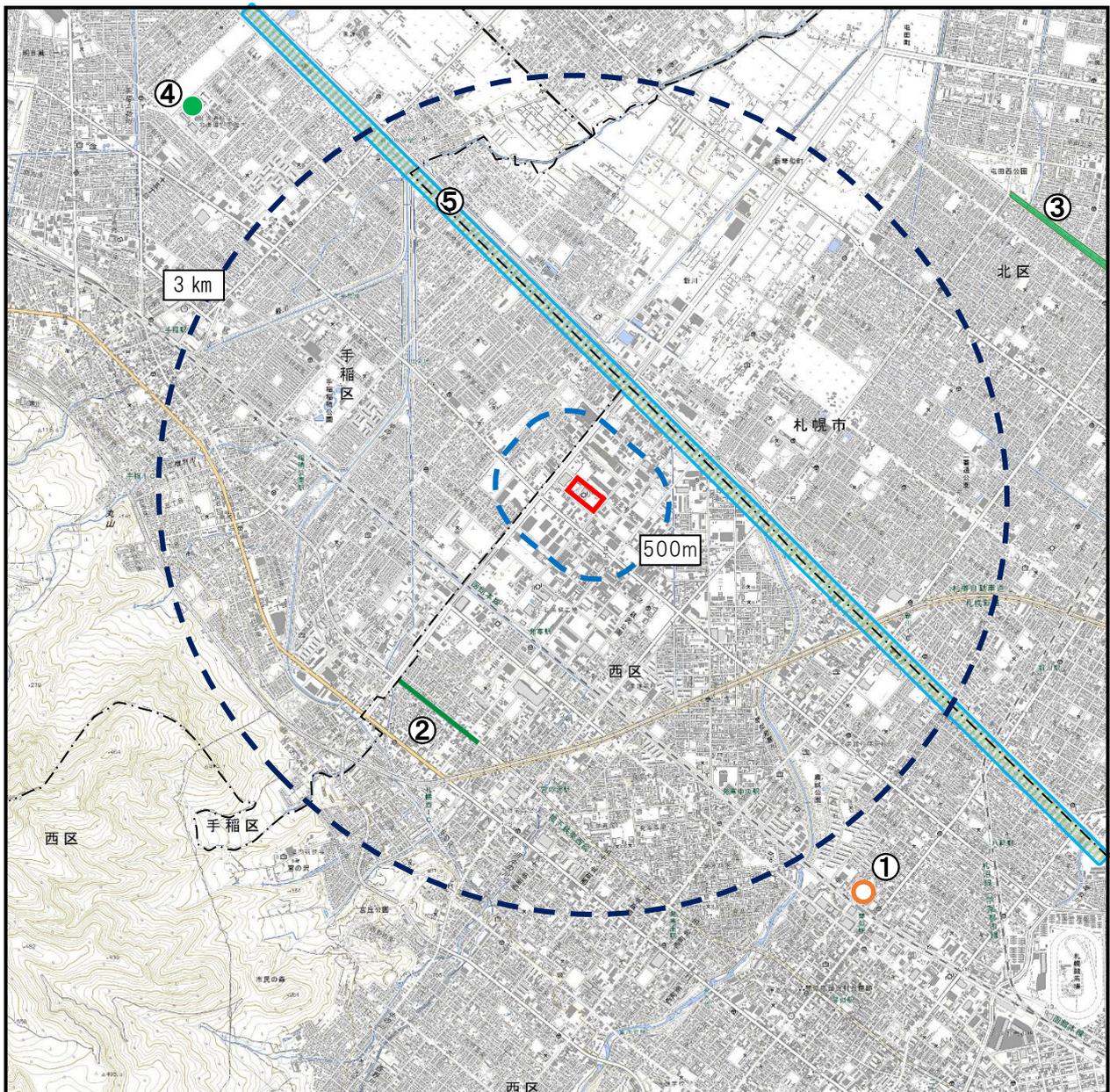
出典）札幌市ホームページ「景観の種（活用促進景観資源）令和5年11月現在

(d) その他の景観資源

「札幌市景観計画」では、市内に「骨格となるみどり」として環状グリーンベルトやコリドーを位置づけており、影響範囲（景観）には新川コリドーや小規模公園等が存在している。

新川沿いには、新川連合町内会を中心とする住民による桜並木造成事業が平成10年より開始され、琴似川とその下流の河川用地空間及び北海道道125号前田新川線（新川通）の歩道約10km（うち北区7.5km 手稲区3km）にわたって、桜並木が形成された。

55) 札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課ホームページ「景観資産、景観の種」

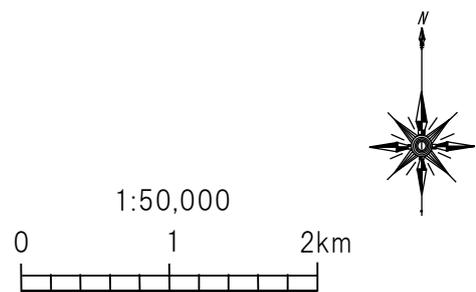


凡 例	
	事業実施区域
	区界
	市町村界
	近景域（周囲約500m内）
	中景域（周囲約3km内）
	札幌景観資産
	景観の種（活用促進景観資源）
	新川桜並木（約10km）
①	日本食品製造合資会社旧工場（レンガの館）
②	ラベンダー通りを中心とした宮の沢中央地区
③	ポプラ通り（屯田防風林）
④	ていね夏あかり（北海道科学大学等）
⑤	新川桜並木

注：地点番号は、本文中の表 3-2-2-15, 3-2-2-16 に対応。

図 3-2-2-9 札幌景観資産及び市民主体の景観資源

※国土地理院発行の電子地形図 25,000（オンデマンド版）の地形図（令和2年11月17日発行）を使用したものである。



出典：札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課ホームページ「都市景観」より作図

c 主要な眺望点等の分布状況

影響範囲(景観)の主要な眺望点の分布状況を、表 3-2-2-17 及び図 3-2-2-10(1)～図 3-2-2-10(3)に示す^{55)～58)}。

ここでの眺望点とは、不特定多数の人の集まる可能性のある公共的な場所を抽出し、近景域は概ね周囲 500m 内、中景域は 500m～約 3 km、遠景域は約 3 km外とした。

また、計画する新工場と同等の規模を有する現工場の視認の可否について、表中に併記した。

表 3-2-2-17 影響範囲(景観)における主要な眺望点^{55)～58)}

地点番号	主要な眺望点となる場所	景観の区分	眺望可能な景観資源(事業地方向)	現工場の視認可否	事業実施区域からの距離
①	新発寒カッコウ公園	近景域	特になし	○	320m
②	北発寒公園(野球場)		特になし	△	500m
③	発寒いこい公園		札幌岳方面スカイライン	○	470m
④	発寒公園(野球場)	中景域	特になし	○	670m
⑤	新川西会館/新川桜並木		手稲山スカイライン	○	850m
⑥	発寒青空公園(新川土手)		手稲山スカイライン	○	950m
⑦	農試公園(屋内広場裏の高台)		特になし	△	2.5 km
⑧	鉄興公園(パークゴルフ場)		特になし	○	850m
⑨	発寒西公園(野球場)		特になし	○	1.4 km
⑩	宮の沢中央ラベンダー通		特になし	△	1.9 km
⑪	稲積公園(テニスコート)		特になし	△	2.1 km
⑫	富丘西公園(手稲中学校側)		特になし	○	2.9 km
⑬	宮丘公園(遊戯広場)		遠景域	石狩湾及び厚田丘陵地	○
⑭	日本食品製造合資会社(レガの館)	特になし(ビルで阻害)		×	3.5 km
⑮	ポプラ通り(屯田防風林)	特になし(防風林で阻害)		×	3.6 km
⑯	JR タワー展望台	石狩湾		○	7.2 km
⑰	市役所展望回廊	石狩湾		○	7.9 km
⑱	手稲山(ハイランド*スキー-場)	石狩湾		×	7.8 km
⑲	前田森林公園(ながめの丘)	手稲山スカイライン		○	3.8 km
⑳	北海道科学大学	特になし		○	3.7 km
参考	モエレ沼公園(モエレ山)		手稲山スカイライン	○	11.6 km

注1：近景は周囲約 500m 内、中景は約 3 km 内、遠景は約 3 km 外とした。

2：現工場の視認可否における「○」は現発寒清掃工場を視認でき、「×」はできないことを示す。「△」は現工場(煙突を含む)のほとんどが視認できないことを示す。

3：地点番号は、図 3-2-2-10(1)～図 3-2-2-10(3)に対応している。

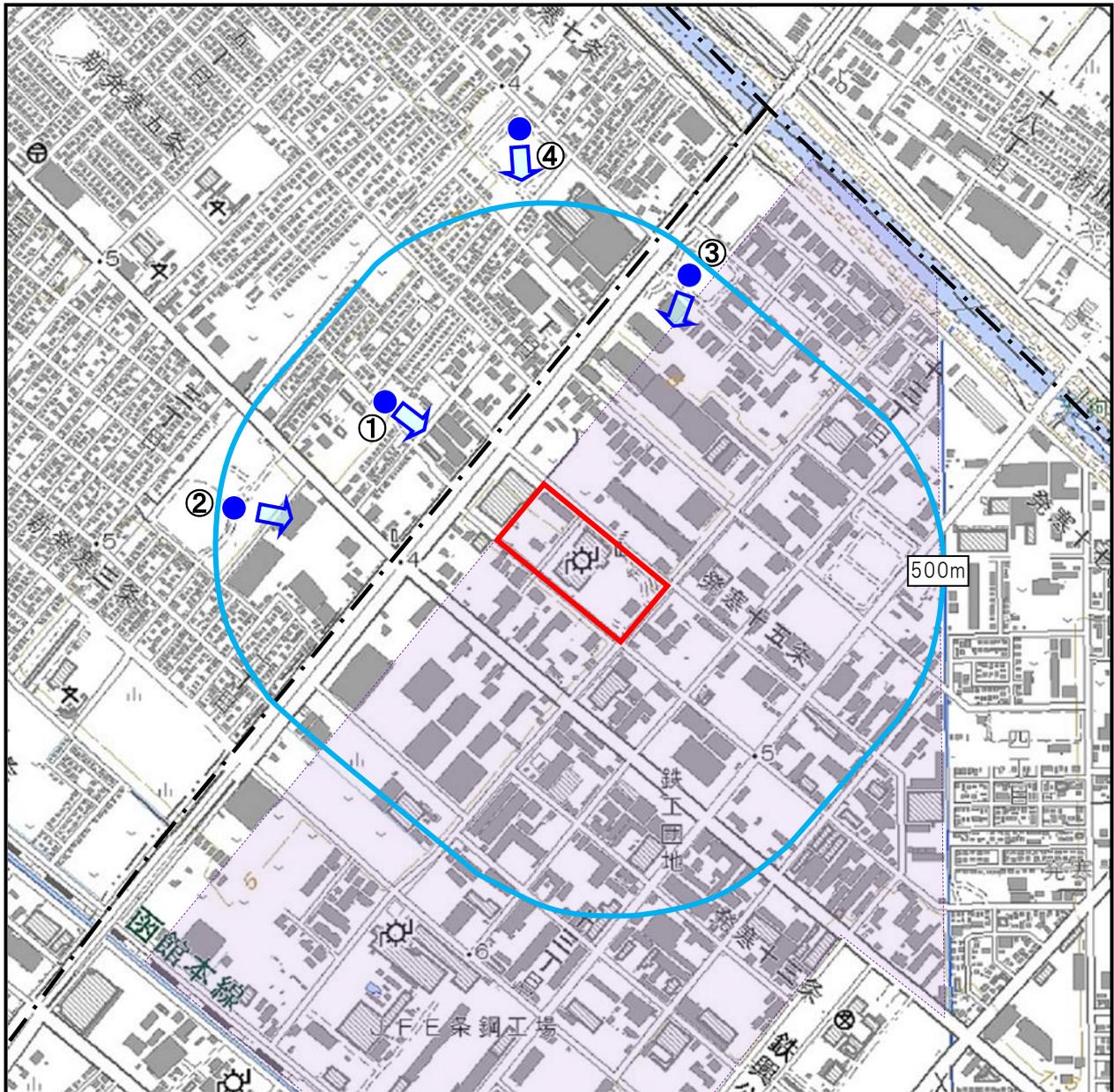
眺望点における眺望可能な景観資源(事業実施区域方向)を望む現況写真を写真 3-2-2-1～写真 3-2-2-6 に示す。ただし、景観資源に対する眺望については、方法書段階で眺望点の追加検討等も含めて再度検証する予定である。

55) 札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課ホームページ「景観資産、景観の種」

56) 札幌市環境局みどりの推進部「公園緑地の統計」(令和 5 年 3 月 31 日現在)

57) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」(令和 6 年 1 月現在)

58) 昭文社「スーパーマッフル北海道道路地図」(令和 4 年 3 月)

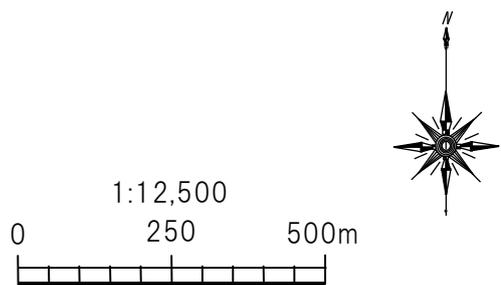


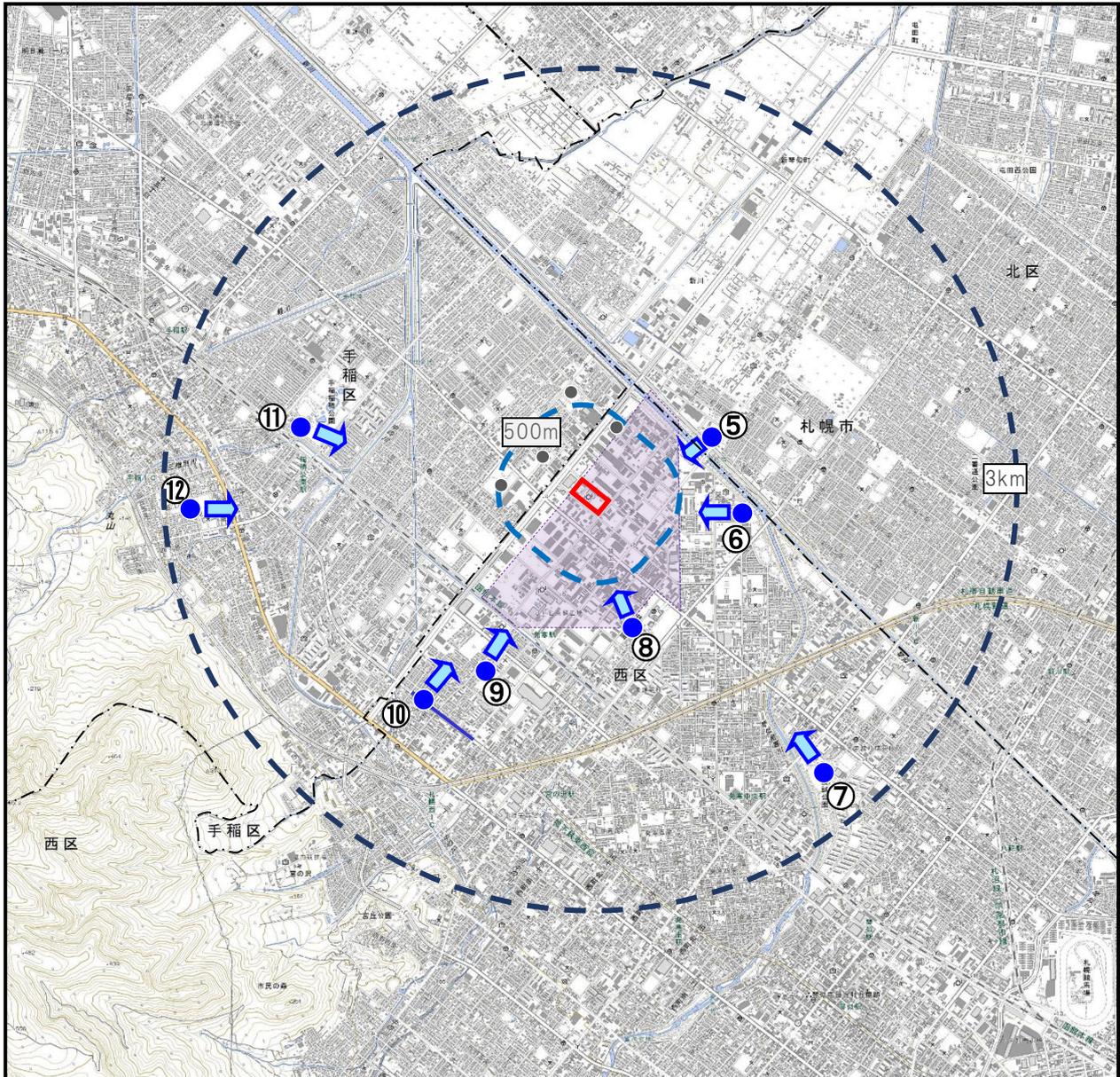
凡 例	
	事業実施区域
	工業専用地域
	区 界
	近 景 域 (周囲約 500m 内)
	主要な眺望点 (近 景 域)
①	新 発 寒 カ ッ コ ウ 公 園
②	北 発 寒 公 園
③	発 寒 い こ い 公 園
④	発 寒 公 園
	写 真 撮 影 方 向

注：地点番号は、本文中の表 3-2-2-17 に対応している。
近景域の枠は敷地境界線から 500m の範囲を示す。

図 3-2-2-10(1) 主要な眺望点 (近景域)

※国土地理院発行の電子地形図 25,000 (オンデマンド版) の地形図(令和 2 年 11 月 17 日発行)を使用したものである。



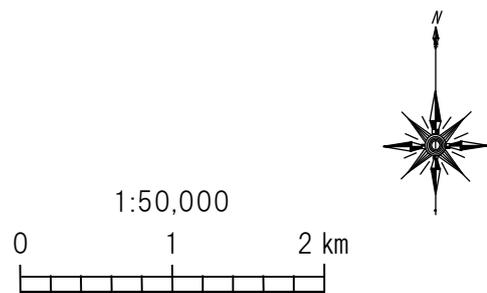


凡 例	
	事業実施区域
	工業専用地域
	区 界
	近 景 域(周囲約 500m 内)
	中 景 域(周囲約 3km 内)
	主要な眺望点 (中景域)
	主要な眺望点 (近景域)
	新川西会館 / 桜並木
	発寒青空公園(新川土手)
	農試公園(屋内広場裏の高台)
	鉄興公園(パークゴルフ場)
	発寒西公園(野球場)
	宮の沢中央ラベンダー通り
	稲積公園(テニスコート)
	富丘西公園(手稲中学側)
	写 真 撮 影 方 向

注：地点番号は、本文中の表 3-2-2-17 に対応している。
中景域の枠は敷地境界線から 3km の範囲を示す。

図 3-2-2-10(2) 主要な眺望点
(中景域)

※国土地理院発行の電子地形図 25,000 (オンデマンド版) の地形図(令和 2 年 11 月 17 日発行)を使用したものである。

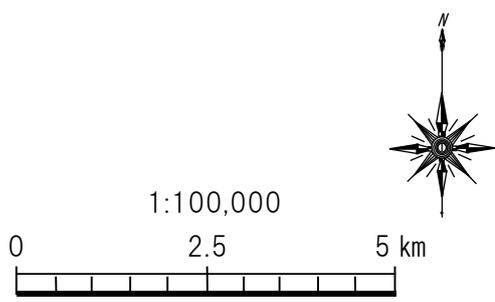




凡 例	
	事業実施区域
	区 界
	市 町 村 界
	影響範囲（景観）
	近景域（周囲約500m内）
	中景域（周囲約3km内）
	自然景観資源
	主要な眺望点（遠景域）
	写真撮影方向
⑬	宮丘公園（遊戯広場）
⑭	日本食品製造合資会社旧工場（レンガの館）
⑮	ポプラ通り（屯田防風林）
⑯	JRタワー展望台
⑰	札幌市役所展望回廊
⑱	手稲山（ハイランドスキー場）
⑲	前田森林公園
⑳	北海道科学大学
参	モエレ沼公園(参考)

図 3-2-2-10(3) 主要な眺望点
(周囲 3km 外の遠景域)

※この地図は、国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(札幌)を拡大して使用したものである。



注：地点番号は、本文中の表 3-2-2-17 に対応している。

<p>① 新発寒 カッコウ公園 (南東方向)</p> <p>煙突上部を 視認できる</p>	
<p>② 北発寒公園 (東方向)</p> <p>樹木でほとん ど視認できな い (冬季閉鎖)</p>	
<p>③ 発寒いこい 公園 (南南西方向)</p> <p>施設上部と 煙突全体を 視認できる</p>	
<p>④ 発寒公園 野球場 (南方向)</p> <p>野球場から 現工場を 視認できる</p>	

写真 3-2-2-1 主要な眺望点における事業実施区域方向の眺望(近景域)

<p>⑤ 新川桜並木 新川西会館 天狗橋 (南西方向)</p> <p>手稲山方向に 施設全体を 視認できる</p>	
<p>⑥ 発寒青空 公園 (新川土手) (西方向)</p> <p>道路沿いに 施設全体を 視認できる</p>	
<p>⑦ 農試公園 (屋内広場 裏の高台) (北西方向)</p> <p>視認できる 場所は ほとんどない</p>	
<p>⑧ 鉄興公園 パークゴルフ場 (北北西方向)</p> <p>工場の中に 煙突全体を 視認できる</p>	

写真 3-2-2-2 主要な眺望点における事業実施区域方向の眺望(中景域 1)

<p>⑨ 発寒西公園 野球場 (北北東方向)</p> <p>発寒駅方向に 煙突を視認 できる</p>	
<p>⑩ 宮の沢中央 ラベンダー 通り (北北東方向)</p> <p>視認できる 場所は ほとんどない</p>	
<p>⑪ 稻積公園 テニスコート (南東方向)</p> <p>視認できる 場所は ほとんどない</p>	
<p>⑫ 富丘西公園 手稻中学側 (東方向)</p> <p>煙突上部を 視認できる</p>	

写真 3-2-2-3 主要な眺望点における事業実施区域方向の眺望(中景域 2)

<p>⑬ 宮丘公園 遊戯広場 (北北東方向)</p> <p>施設全体を 視認できる</p>	
<p>⑭ 日本食品製造 合資会社 旧工場 (レンガの館) (北西方向)</p> <p>周辺の建物で 視認できない</p>	
<p>⑮ ポプラ通り (屯田防風林) (南西方向)</p> <p>視認できる 場所はない</p>	
<p>⑯ JR タワー 展望台 (北西方向)</p> <p>石狩湾手前に 施設全体を 視認できる</p>	

写真 3-2-2-4 主要な眺望点における事業実施想定区域方向の眺望(遠景域 1)

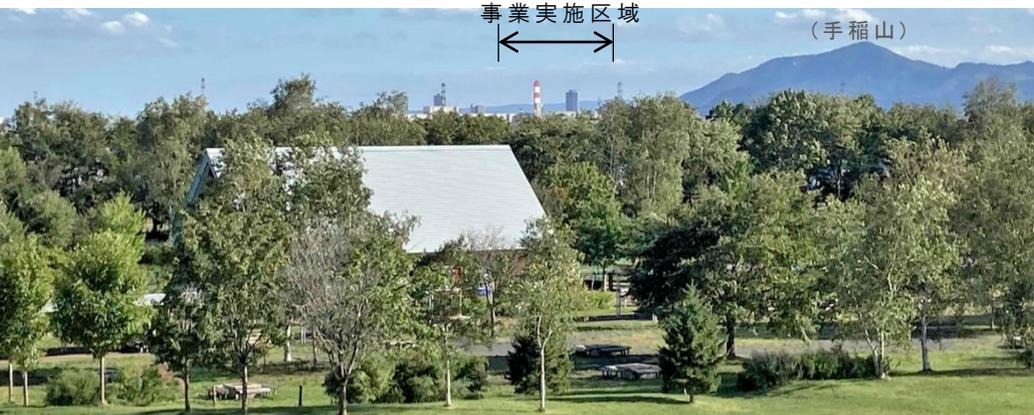
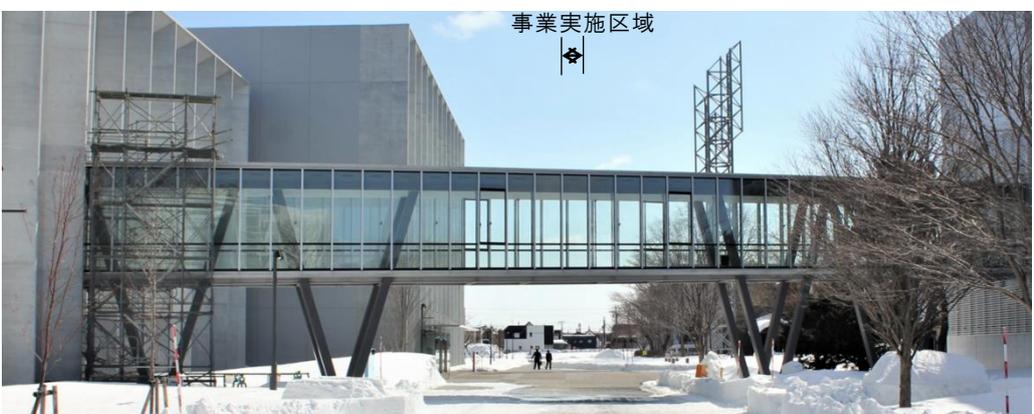
<p>⑰ 市役所 展望回廊 (北西方向)</p> <p>ビルの間に 小さく煙突が 視認できる</p>	<p>事業実施区域</p>  <p>(石狩湾)</p>
<p>⑱ 手稲山 ハイランド スキー場 (東北東方向)</p> <p>視認できる場所 はない (篠路は視認)</p>	 <p>(石狩湾)</p> <p>事業実施区域</p>
<p>⑲ 前田森林公園 ながめの丘 (南南東方向)</p> <p>稜線に煙突 上部を視認 できる</p>	 <p>事業実施区域</p> <p>(手稲山)</p>
<p>⑳ 北海道科学 大学 キャンパス (南東方向)</p> <p>遠方に小さく 煙突上部が 視認できる</p>	 <p>事業実施区域</p>

写真 3-2-2-5 主要な眺望点における事業実施区域方向の眺望(遠景域 2)



(参考)
モエレ沼
公園
モエレ山
(南西方向)

写真 3-2-2-6 主要な眺望点における事業実施区域方向の眺望(遠景域 3)

(イ) 人と自然との触れ合いの活動の場

a 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

影響範囲(触れ合いの活動の場)における野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況を、表 3-2-2-18 及び図 3-2-2-11 に示す^{56)~63)}。

新川等の河川や緑地には、ウォーキングコースやサイクリングコースがある。この他、周辺には公園が多く敷設されており、パークゴルフ場や野球場において地域の住民が運動や散策ができる場所となっている。

表 3-2-2-18 に示す地点のうち、現工場を比較的良好に視認できる箇所は、①新川桜並木、④発寒西公園、⑥発寒いこい公園、⑦鉄興公園等であるが、これらは景観を楽しむ以外の目的で利用する人が多い場所である。

56) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市公園緑地の統計」(令和 5 年 3 月 31 日現在)

57) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」(令和 6 年 1 月現在)

58) 昭文社「スーパーマッブル北海道道路地図」(令和 4 年 3 月)

59) 札幌市環境局環境都市推進部「令和 5 年度版札幌市環境白書」(令和 5 年 12 月)

60) 札幌市北区「北区ウォーキングマップ」(令和 2 年 4 月更新)

61) 札幌市西区「西区ウォーキングマップ」(令和 4 年 12 月更新)

62) 札幌市手稲区「手稲区ウォーキングマップ」(令和 2 年 12 月更新)

63) 札幌市建設局総務部「さっぽろサイクリングマップ」(令和 3 年 3 月)

表 3-2-2-18 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場

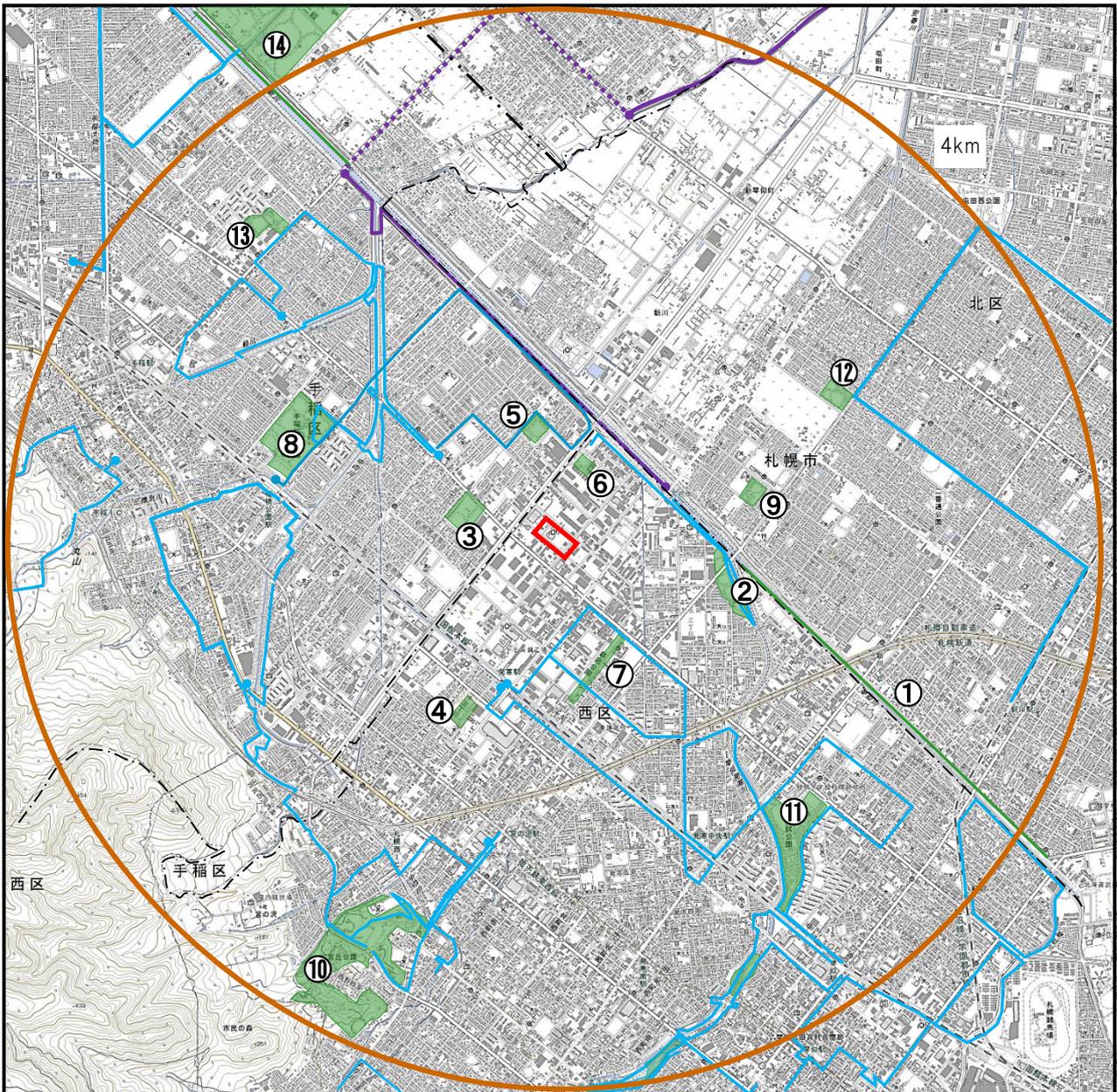
地点番号	施設名	活動内容	利用時期	備考	アクセス経路	現工場の視認可否
①	新川緑地、新川桜並木	散策、花見	通年	都市緑地	JR学園都市線「八軒駅」から徒歩10分	○
②	発寒西陵公園	遊び、野球、テニス、ゲートボール	冬季閉鎖	地区公園	地下鉄東西線「琴似駅」又は「発寒南駅」からバス新川発寒線「発寒15条3」徒歩3分	新川土手△
③	北発寒公園	遊び、野球、テニス、ゲートボール、パークゴルフ	冬季閉鎖	地区公園	地下鉄東西線「宮の沢駅」からJR北海道バス「新発寒5条2丁目」徒歩1分	△
④	発寒西公園	遊び、野球、ゲートボール	通年	近隣公園	地下鉄東西線「宮の沢駅」徒歩約17分	○
⑤	発寒公園	遊び、野球、テニス、パークゴルフ	通年	近隣公園	地下鉄東西線「宮の沢駅」からJR北海道バス「新発寒5条2丁目」徒歩3分	野球場△
⑥	発寒いこい公園 発寒第2工業団地緑地	遊び、野球	通年	近隣公園	地下鉄東西線「宮の沢駅」からJR北海道バス「発寒16条14丁目」徒歩3分	○
⑦	鉄興公園	パークゴルフ、野球、テニス	通年	近隣公園	JR発寒駅北口徒歩約11分 地下鉄東西線「宮の沢駅」徒歩約19分	パークゴルフ場○
⑧	手稲稲積公園	遊び、野球、テニス、プール、パークゴルフ	通年 プール夏季 P冬季閉鎖	運動公園	JR函館本線「稲積公園駅」徒歩2分	×
⑨	新川中央公園	遊び、野球、ゲートボール	通年	近隣公園	地下鉄東西線「琴似駅」からバス新川発寒線「新琴似2条13」徒歩7分	×
⑩	宮丘公園	散策、遊び、野球、パークゴルフ	通年 P冬季閉鎖	特殊公園	「地下鉄宮の沢駅」徒歩15分	遊戯広場○
⑪	農試公園	遊び、自転車、野球、テニス、ゲートボール、アリーナ	通年	運動公園	地下鉄東西線「琴似駅」徒歩25分 JR「琴似駅」徒歩15分	高台△
⑫	新琴似グリーン公園	遊び、野球、テニス	冬季閉鎖	地区公園	地下鉄南北線「麻生駅」から中央バス「新琴似6条13丁目」徒歩5分	○
⑬	前田公園	野球、遊び、ゲートボール	通年	地区公園	JR手稲駅からJR北海道バス「前田6条10丁目」徒歩約3分	×
⑭	前田森林公園南エリア (バーベキュー広場 ながめの丘)	遊び バーベキュー、パークゴルフ、野球、散策	通年	総合公園	地下鉄南北線「北24条駅」から中央バス「前田森林公園入口」徒歩1分	見晴台△

注1：地点番号は、図3-2-2-11に対応している。

注2：現工場の視認可否における「○」は現工場を容易に視認でき、「×」は視認できないことを示す。

「△」は煙突上部等を視認できる場所が敷地内に存在するがほぼ視認できないことを示す。

注3：アクセス経路は google map 等を参考に、車両を使わない方法を記載した。

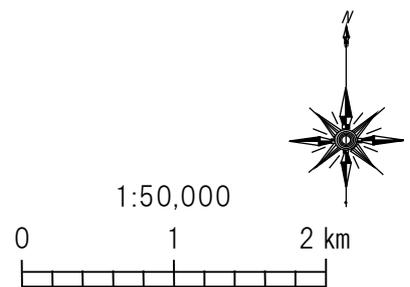


凡 例	
	事業実施区域
	区界
	影響範囲（触れ合いの活動の場）
	野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場
	西区・手稲区・北区ウォーキングコース
	真駒内茨戸雁来自転車道路
①	新川桜並木(総延長 10km)
②	発寒西陵公園
③	北発寒公園
④	発寒西公園
⑤	発寒公園
⑥	発寒いこい公園
⑦	鉄興公園
⑧	手稲稲積公園
⑨	新川中央公園
⑩	宮丘公園
⑪	農試公園
⑫	新琴似グリーン公園
⑬	前田公園
⑭	前田森林公園

注：地点番号は、本文中の表 3-2-2-18 に対応している。

図 3-2-2-11 野外レクリエーション地及び人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

※国土地理院発行の電子地形図 25,000 (オンデマンド版) の地形図(令和 2 年 11 月 17 日発行)を使用したものである。



出典：札幌市「北区ウォーキングマップ」(令和 2 年 4 月更新)、「西区ウォーキングマップ」(令和 4 年 12 月更新)「手稲区ウォーキングマップ」(令和 2 年 12 月更新)「さっぽろサイクリングマップ」(令和 3 年 3 月更新)

より作図